

企画・セッション 本社企画

10月7日(金) 9:00～10:30 第3会場(旭川市民文化会館 3F 大会議室)

購買専門部会／医療事業推進本部病院支援部業務支援課

第4回 赤十字購買フォーラム 大型医療機器共同入札事業の推進 ～他組織との共同事業～

座長：京都第二赤十字病院 院長補佐兼内科部長 田中 聖人

医療技術の進歩に伴い手術用ロボットなどの普及や大型放射線機器・臨床検査機器などの機能・性能の高度化が進み、電子カルテや診療報酬請求などICT化の波が押し寄せ、医療機器等への設備投資が増加している。

病院経営の状況は良好と言えないなか、地域において医療の提供を維持するために医療機器整備は必要であり、継続的に更新を伴う高額な投資をしていかなければならない。赤十字病院グループでは、設備投資計画に基づく計画的な医療機器整備や購入費用削減による経営の健全化に向けて取り組んでおり、方策のひとつとして令和2年度より国立病院機構本部を代表に地域医療機能推進機構、労働者健康安全機構の3法人において実施している放射線機器を対象とした大型医療機器の共同入札に参加し3年目を迎えている。

本事業はそのスケールメリットから施設単独で調達した場合より安価な調達が可能であり、赤十字病院グループ全体の設備投資費用の圧縮に寄与する有用なものである。このことから本事業をより充実させるため、参加施設における医療機器整備に至るまでの取り組みや放射線技師会及び医療事業推進本部を含めたそれぞれの立場からみた利点・欠点について検討・議論したい。

【パネリスト】

- ① 京都第二赤十字病院 放射線科部 技師長 正者 智昭
- ② 前橋赤十字病院 放射線科部 技師長 渡邊 寿徳
- ③ 旭川赤十字病院 調度課 調度係長 北崎 暢
- ④ 益田赤十字病院 企画課 企画係長 辻岡 宏樹
- ⑤ 医療事業推進本部 病院支援部業務支援課 主事 今井 星児